

## 令和7年度 第3回小樽市子ども・子育て会議 会議概要

日 時：令和8年2月19日（木）午後6時00分～午後6時30分

場 所：小樽市役所別館3階第二委員会室

出席者：片桐会長、石月委員、松本委員、小笠原委員、大川委員、厚谷委員、草島委員、法本委員、倉本委員（欠席者：林委員、渡邊委員、一鐵委員、木村委員）

事務局：こども未来部長、こども未来部次長、こども未来部主幹、子育て支援課長、こども福祉課長、こども家庭課長、子育て支援課教育保育係長、子育て支援課事業係長、子育て支援課主査、子育て支援課事業係員

### <1 開会>

### <2 議事>

#### (1) 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の実施について

●事務局より

資料に基づいて、事業の実施について説明した。

●委員からの意見等

・この事業の対象となるお子さんは何人ぐらいいるのか？

⇒第三期小樽市子ども・子育て支援事業計画に記載のとおり、延べ人数0歳児2,376人、1歳児2,112人、2歳児1,584人程度を見込んでいます。

#### (2) 民間保育施設の整備計画について

●事務局より

資料に基づいて、計画について説明した。

●委員からの意見等

・特になし。

#### (3) 保育提供体制の確保のための実施計画について

●事務局より

資料に基づいて、計画について説明した。

●委員からの意見等

・特になし。

### <3 その他>

#### ●事務局より

- ・特になし。

#### ●委員からの意見等

- ・少子化と言われており、小樽市内で子供が減っているのを感覚でも感じている。子供が減ることでママ友もできにくくなり、他市に引っ越すという選択を取る人も増えてしまうのではないか。家を建ててしまうと戻らないと思うのでどうにか増える方向に持って行ってほしい。

⇒小樽市としても重要な課題と感じている。貴重な意見としていただく。

- ・児童館で行っているイベント等に誘っても中々踏み出せないということがある。スマホ等を使う世代でもあるのでそういった若い層向けのPRをどんどんして、事業参加への敷居を下げしてほしい。

⇒子育て支援課でも今年度から Instagram を活用し、PR に努めている。実際にこちらを見て知ったという声も聞いているので、今後も活用していきたい。

以上